

第2号様式（第23条関係）

建築物排出量削減計画変更届

(宛 先) 京 都 市 長	令和 4 年 12 月 (日
届出者の住所 (法人にあっては, 主たる事務所の所在地) 京都市下京区東堀川通下魚ノ棚下ル鎌屋町 25 ベルビュー堀川 2 階 A	届出者の氏名 (法人にあっては, 名称及び代表者名) 富士見ホーム株式会社 代表取締役 林 光奎 電話 075-361-0009

☒ 第49条第3項 京都市地球温暖化対策条例 ☐ 第52条第2項において準用する同条例第49条第3項 の規定により届け出ます。		
変更の内容	変更する事項	・外壁，屋根又は床の断熱 ・節水型設備の設置
	変 更 前	① 屋根：硬質ウレタンフォーム2種1号 床 ：押出法ポリスチレンフォーム3種bA ② 小便器4.5Lの節水型トイレを採用
	変 更 後	① 吹付硬質ウレタンフォームA種1H ② 採用無し
変 更 の 理 由		① 仕様変更 ② 誤記

注 該当する□には，レ印を記入してください。

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長		令 和 4 年 12 月 1 日		
住所 (法人にあっては, 主たる事務所の所在地) 京都市下京区東堀川通下魚ノ棚下ル鎌屋町 25 ベルビュー堀川2階A		氏名 (法人にあっては, 名称及び代表名) 富士晃ホーム株式会社 代表取締役 林 光奎		
京都市地球温暖化対策条例 ☐ 第 4 9 条第 1 項 ☒ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新 築 ☐ 増 築		
工事着工予定年月日		令和3 10月 1日		
工事完了予定年月日		令和4年 11月 日		
建築物 の概要	名 称	(仮称) 上京区牡丹鉾町 計画		
	所 在 地	京都市上京区牡丹鉾町564 他		
	構 造	RC造	階 数	地 上 7 階 地 下 0 階
	敷 地 面 積	414.79平方メートル	高 さ	19.990メートル
	建 築 面 積	332.29平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	2155.06平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	2155.06平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等		
		飲 食 店 等		
		集 会 所 等		
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		別紙による 0.8B-		
設計者の住所及び氏名の公表について		☐ 公表可 ☒ 公表不可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	屋根、外壁、床：硬質ウレタンフォームA種1H
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	住戸にLow-e複層ガラス採用
☒ エネルギー消費効率の高い設備の導入	住戸・共用部にLED照明を採用
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備の導入
☐ 環境への負荷が少ない材料の利用	
☒ 地 域 産 木 材 の 利 用	住戸内の2重床下地に府内産木材を使用
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	大便器6Lの節水型トイレを採用
☐ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	耐用年数の長いダクト・配管材を採用
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	防汚性のある仕上げ材を使用
☐ 緑 化 の 実 施	
☐ 電気自動車等の充電設備の設置	
☒ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	メールコーナーに宅配ボックスを設置
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。(敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります)